

千草会

題字 原あやめ

■目次

- 学院長挨拶 1頁
- 在校生より 2頁
- 卒業生だより 3頁
- 学院ニュース 4・5頁
- 研修旅行／会計報告／就職他 ... 6頁
- 学校案内 7頁
- お知らせ／千草会役員 8頁



28

年号

学院長挨拶



学院長 横山 芳明

人間性豊かな教育を

夏の風物詩、団十郎朝顔の色合いが何とも心地よい今日この頃ですが、会員の皆様
に於かれましては益々ご健勝のこととお察し
申し上げます。また、常日頃より学院の
学生教育運営には一方ならぬご尽力、ご支
援を賜り心より厚く御礼申し上げます。私
は本年度より歴史ある山脇美術専門学院の
学院長に就任いたし、大変誇りに思うと同
時に学院発展の一躍を担うその責務の重さ
に葛藤の日々が続いております。専門学校
教育はその時代の社会のニーズに即応した
専門技術の修得が不可欠であります。学
校教育の根源は人間教育であり、専門の知
識や技術の習得は人間形成の上に成り立つ
と考えます。充実した設備環境と経験豊か

な先生方のご指導により、毎年、立派なク
リエーターの卵達を送り出している山脇の
専門教育は社会からも高い評価を受けてお
ります。社会人としての豊かなコミュニ
ケーション能力を身に付けてこそ、真のプロ
フェッショナルと言えらると思えます。入学し
て来る大半の学生はデザインの勉強は初め
てですが、個性を大切に感性を最大限に伸
ばすという少人数制教育により、3年間の
充実した教育プログラムで着実に才能をの
ばしております。専門学校である以上、生
徒募集活動は非常に大切であり、少子化の
時代、入学にいたるまで、体験入学や学校
説明会等、高校生の関心を山脇に向けても
らせる様々な企画を立てています。入学（入
口）・教育（中身）・就職（出口）、この3
つのカテゴリーのバランスが保たれてこそ専
門学校の価値があると思えます。今の山脇
には千草会という歴史と伝統に支えられ、
数多の卒業生に見守られ、教職員は安心し
て学生指導に専心できる素晴らしい環境が
あります。これからも千草会のご支援のも
と、私自身、学生指導に精進してまいりま
すので、よろしくお願い申し上げます。末文
にて恐縮ですが、皆さまのご健康と益々々
ご発展、ご活躍を心よりお祈り申し上げ、
ご挨拶とさせていただきます。

お知らせ

山脇祭

開期／平成28年9月3日(土)
4日(日)
10:00~17:00
テーマ／『まる・さんかく・しかく』

【コメント】形の基本になるまる、さんかく、しかくで作った新しい形の世界へ遊びに来てください。飲食やオリジナルグッズの販売、学生作品展示なども行っています。

SEBIT2017 東京都専門学校 アート&デザイン展

開期／平成29年2月22日(水)
~28日(火)
9:30~17:30(初日は14:00開・
最終日は14:00閉館13:30まで入場可)
開催場所／東京都美術館(ロビー階第1・2展示室)

【コメント】この展覧会では東京都のデザイン&アート系専門学校の学生作品が展示されます。山脇3学科の作品はもちろん、他校の力作も一同に展示されます。見応えある展覧会です。是非とも、皆様のご来場をお待ちしています。

卒業・進級制作展

開期／平成29年3月3日(金)
~7日(火)
11:00~19:00(最終日は17:00まで)
開催場所／山脇ギャラリー

【コメント】3年生は卒業制作を展示、1・2年生は1年間の集大成として進級制作の作品を展示します。学生たちの力のこもった作品を是非ご覧いただき、アドバイス・コメントを宜しくお願ひします。皆様お誘い合わせの上ご来場下さい。

山脇ギャラリーより《これからの展示予定(一部)》

- 歩展 9月20日(火)~9月27日(火)
- 第29回 バスケター展 10月5日(水)~10月12日(水)
- ムササ美2016 10月21日(金)~10月27日(木)
- PMCギルドジャパン2016協会展 着飾るスプーン 10月28日(金)~10月31日(月)
- 第28回 全日本高校デザイン・イラスト展 11月10日(木)~11月15日(火)

☆通常の開館時間は11:00~18:00ですが、展示初日と最終日は時間が異なる場合がありますので、お問い合わせ下さい。山脇ギャラリー TEL 03-3264-4027 ☆制作活動をされている方で作品発表の場所を御探しの際は、山脇ギャラリーをご利用はいかがでしょうか。会員の方の参加をお待ちしております。



『在校生対象の教養講座を予定しています』

【開 期】平成28年11月8日(火)
16:00~17:30
【開催場所】山脇ギャラリー
【講 師】林家たい平(落語家)

教養講座

【コメント】授業の一環として、学生の人間性を高めるために、社会人としての教養を身に付けることを目的に、その道のプロの方に講演いただきます。

学内委員	幹事	学内代表幹事	監事	副会長	会長
根岸 麻実	杉山 千尋	根岸 美穂	井上 舞	大島 佐和子	桐井 英明
篠原 一郎	北澤 幸脩	福田 志穂	大島 彩瑛	土肥 紗久良	中田 智巳
白井 宏仁	木下 朋美	中村 衣里	小林 萌	福澤 清子	篠原 美代子
太田 律子	百田 富美子	芦沢 梓	片桐 清子	菅 沢 梓	百田 富美子
洋裁師範科卒	デザイン科卒	コスチュームデザイン科卒	コスチュームデザイン科卒	コスチュームデザイン科卒	コスチュームデザイン科卒

千草会役員

就任された教職員	就任された先生	退任された先生
根岸 美穂	田口 史樹	菅野 康子
菅野 康子	内堀 豪	山田 祐照
門倉 正憲	荒井 康子	小池 正夫
大澤 勝彦	豊村 博	大澤 勝彦
スベールデザイン科	スベールデザイン科	スベールデザイン科

講師・教職員異動報告

ビジュアルデザイン科



グラフィックデザインとWebデザインの両方を主に「仕事に直結する授業」を行っています。イラストレーションや動画などの派生講座も充実。「発想力・企画力・コミュニケーション力を鍛える」課題も多数あり、時代のニーズに対応できるスキルが身に付きます。ビジュアルデザイン科の3年間には、デザインセンスや感性も磨ける、多角的な授業が詰まっています。



学院は平成28年11月に創立87年を迎えます。これからも特色あるデザインの専門学校として邁進していく所存でございますので、今後とも入学・就職において、同窓の皆様からのご協力を宜しくお願い致します。

建学の精神の「真・善・美」に基づいた専門性と人間力を養う教育で一人ひとりの可能性を引出します

「個々を大切にする教育」

1クラス15～20名の個別サポート

「3年制のデザイン専門学校」

就職に直結したカリキュラム

「最高の学習環境」

一人ひとりに専用の作業机、ノートパソコン支給

「コンペ実績」

毎年、多数のコンペに入賞実績

「充実した就職サポート」

サポートプログラムが充実、就職率100%を目指します

スペースデザイン科

住宅から、レストラン、ブティックなどの商業施設、快適に暮らすために必要な家具や照明などのインテリアエレメントまで幅広く学び、それぞれのニーズに最適な空間をデザインするスキルを身に付けます。



実務に不可欠な構造、構法、材料、設備、法律、施行等の知識も必修科目で学び、卒業と同時に二級建築士の受験が可能です。在学中に商業施設士補、商業施設士の資格取得を目指します。

ジュエリーデザイン科



ジュエリー制作の基礎技術から本格宝飾造形技術まで一貫したカリキュラムで学びます。段階を追って

多くの制作課題をこなすことで、初心者でも確かな技術を身につけることができます。

「手から手へ」技術を伝える距離感を大切に、様々な技法・表現力を積み上げていく教育で、付加価値の高い技術とデザインセンスを併せ持つハイレベルなクリエイターを目指します。



※平成29年度に向けて、学校案内書をご希望の方にはご送付致します。

ホームページ アドレス <http://yamawaki.ac.jp/> 山脇ニュースやブログなど見所も沢山あります。



ビジュアルデザイン科

《1年》
藤原 ちえ

Visual design

山脇での学生生活は、予想以上に充実していて、入学してからあっという間に2ヶ月が経ちました。クラスメイトも、分け隔てなく和気あいあいとして居心地の良いクラスです。

私は山脇に入学する前は、デザインに関する知識はほとんど無く、パソコンも初心者でしたが、先生方が一から丁寧に教えてくださるので、安心して授業に取り組むことができています。

これまでの授業を通して、少しずつ自分の中に知識が増えていった身の回りのデザインに対する意識も変わってきたのが実感できます。新しい知識が増えることによって、さらに興味や意欲が湧き、自分は将来何をやりたいのかがだんだんと見えてきました。クラスメイトと授業のことや将来について話す時間は、これまでにないワクワク感でいっぱいです。山脇に入学して良かったと思えます。

これからも山脇での時間を大切に、知識、技術をたくさん吸収してたくさんの方にチャレンジをしていき、立派に成長していきたいです。



作品名 「研修旅行イラストポ」



スペースデザイン科

《2年》
古川 唯

Space design

山脇での生活も二年目を迎え、後輩もでき充実した日々を送っています。

私は大学を卒業してから入学したため、年下の同級生と一緒に過ごすことに不安がありました。しかし、そんな感情はすぐに吹き飛び、今では切磋琢磨するかけがえのないクラスメイトになっています。

また、1年次は建築の知識が皆無だった自分ですが、今ではデザイン発想から具体的に図面を引き、模型を作れるようになりました。

今でもデザインに迷ったり法規定を気にしながら考えるのは難しいですが、一年間基礎を着実に身に付けた為、ある程度自分で進めることができるようになりました。これも講師の先生やいつも周りで支えてくれている友達のおかげだと思えます。

学院生活も折り返しとなりましたが、学生としての貴重な時間を無駄にせず、社会人になったときに知識や経験が活かせるようにこれからも頑張っていきたいと思えます。



進級制作 私の家
「Jungle House～自然と解放感あふれる家～」



ジュエリーデザイン科

《3年》
田中 詩乃

Jewelry design

入学し、気がついたら今年ももう三年目でした。忙しくも充実した毎日を送っています。

私は普通科高校出身でジュエリーの知識や金属加工は全くの初心者でしたが、基礎から丁寧に教えて頂き今では形に出来るようになりました。

最近は、貴金属だけではなく様々な素材を使った新しいジュエリー制作にも挑戦しています。2年次の進級制作ではまち針を使用したネックレス・ブローチを制作しました。火はかけられなかったり、針が曲がったり、貴金属とはまた違った難しさがありました。苦戦しましたがイメージした世界観が実現できてとても達成感を得られました。学年を追うことに出来る事が増え、思い描いたものが形に出来る感覚をすごく大切にしています。

先日、内定をいただきました。今後はクラフトマンとしてお客様を笑顔に出来るジュエリー制作をしたいと思えます。また、残りの学生生活は日々の学びを大切にしながら学生時代にしか出来ないことを沢山したいです。



作品名 進級制作「刺さない」

卒業生だより



ビジュアルデザイン科
2012年度卒業

喜屋武 捺実

natsumi kyan

株式会社 ジェイ・キャスト

▶ 仕事内容を教えてください

「J-castニュース」という自社メディアのニュース配信の運営と更新をしています。Webサイトのデザインが主な仕事です。プログラマーと相談しながら画面の見せ方を工夫しています。ページビューを上げるには見た目がとても大事なんです。Webは動きのあるデザインが魅力ですね。

▶ やりがいを感じるのはどんな時ですか？

結果がページビューという数字で見られるのでデザインをリニューアルした後に、反応が大きいと嬉しいですね。「見てくれる人がこんなにたくさん居るんだ」と実感した時の喜びと嬉しさがやりにがいに繋がります。

▶ 仕事をする上で、大切にしていることは何ですか？

ユーザーの使いやすさですね。目的のページに迷わずに誘導できるように意識しています。そのためにはサイト構造をはじめにしっかりと作ることです。

▶ 後輩たちへのメッセージをお願いします

技術を持って社会に出たいと思い、専門学校に進学しました。山脇で基礎から幅広く学んだことが今、役立っています。学生時代はデザインのストックをたくさんしておくといいですね。



スペースデザイン科
2003年度卒業

堀川 なぎさ

nagisa horikawa

株式会社 ノムラプロダクツ

▶ 仕事内容を教えてください

建築、内装、展示、施工などを行う会社で、サインデザインを中心に、デザインだけでなく動線計画やプレゼン等の業務を担当しています。サイン計画というのは耳慣れない言葉かもしれませんが、いかに迷いなく人を目的地まで導く事ができるかを考え、空間や人の動きを想像し誘導サインやフロアマップを配置し、情報をデザインする仕事です。現在は二人目の子供の産休中です。

▶ やりがいを感じるのはどんな時ですか？

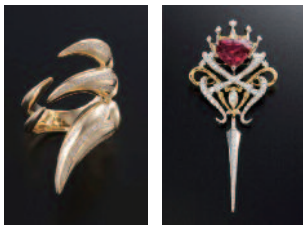
お客様から「いいデザインになった」という言葉をいただいた際には、非常に達成感を感じます。また、トラブル無しに進むことがないと言っていい仕事なので、完成を迎えた時には、本当にやりがいを感じますね。

▶ 仕事をする上で、大切にしていることは何ですか？

お客様としっかりコミュニケーションをとることです。今はメールで簡単にやりとりができますが、できるだけ会って大事な点はきちんと確認をしながら進めるようにしています。また、完成までの工程が決まっているので、期日を守ることもとても大切です。

▶ 後輩たちへのメッセージをお願いします

楽しい、好き、と思えることを増やしてください。また、失敗を乗り越える経験をしてバイタリティーを身に付けてほしいです。何でも経験だと思って積極的に行動してください。



ジュエリーデザイン科
2015年度卒業

佐藤 涼磨

ryoma sato

有限会社 美術工芸 松崎

▶ 仕事内容を教えてください

クラフトマンとしてハイジュエリーの制作を行っています。一点物がほとんどなので、同じ作業をすることはほとんどないですね。石留めではサイズや形もさまざまな石を留めていくので、応用力が求められますね。

▶ やりがいを感じるのはどんな時ですか？

新しいものを作るのが好きだし、どんな仕事も前向きに取り組めているので、日々やりがいを感じています。この1年間で自分の力がずいぶん伸びたと感じられるのがうれしいですね。

▶ 仕事をする上で、大切にしていることは何ですか？

妥協せずにやりきることです。一つひとつの作業を納得できるまで取り組むようにしています。仕事では高いクオリティが求められるので、それに応えるためにも自分自身に妥協しないことを大切にしています。

▶ 後輩たちへのメッセージをお願いします

自分で選んだ世界だという想いをもって毎日を過ごして欲しいですね。その想いがあれば、色々なことを乗り越えていけると思います。



●ジュエリーデザイン科は、200年の伝統技術が今に受け継がれている玉川堂、金属産業の歴史を学べる燕市産業史料館、爪切りで有名な諏訪田製作所を見学。磨き屋一番館でタンプラー研磨体験をしました。

金属加工にこれから従事していく学生が、目を輝かせながら熱心に見学をしていました。

ジュエリーデザイン科助手
杉山 千尋 記



●スペースデザイン科は、長野県軽井沢方面へ行きました。内村鑑三記念堂『石の教会』は、自然の中に調和した建物でした。石とガラスの異素材のアーチが重なり合う外観とガラスから入る光が神秘的で美しい内部でした。

また、日本の代表的なクラシックホテルの一つ『万平ホテル』を見学し充実した2日間を過ごせました。

スペースデザイン科助手
福澤 清子 記



●ビジュアルデザイン科は新緑が美しい軽井沢へ行ってきました。豊かな自然を有するタリアセンや星野エリアでは木立の中を散歩しリフレッシュ。ガラス工房ではガラスの表面に各々柄を描きマイコップを制作。ペイネ美術館やセゾン現代美術館ではアート作品に触れて見聞を広めました。1泊2日ということもあり、学生同士の親睦も深まり実りの多い研修旅行となりました。

ビジュアルデザイン科助手
根岸 美穂 記



千草会 平成27年度会計報告

入学時に納めて頂きました千草会の終身会費について誌上で会計報告させていただきます。

前年度繰越金	¥4,842,443
収入		
千草会費	¥1,380,000
利息	¥898
計	¥1,380,898
支出		
千草会会報 発行費	...	¥779,990
千草会賞	¥55,570
運営費	¥298,750
その他	¥5,098
計	¥1,139,408
次年度繰越金	¥5,083,933

平成27年度(28年3月卒業生)の内定率は90・3%でした。スペースデザイン科は3年連続で100%、ジュエリーデザイン科は91・7%、ビジュアルデザイン科は85・7%でした。日々の課題と就職活動の両立は大変なことも多かったと思います。しかし社会に出てからこの経験はきっと役に立つことでしょう。卒業生の皆さんの活躍を期待しています。

平成28年度は5月に早くも3名が内定をいただき、7月末の時点で8名の学生が内定を獲得しました。また、スペースデザイン科については内定率100%を達成しました。卒業までに一人一人が夢を実現できるよう、今後も支援をしていきたいと思います。

在校生だけでなく、卒業生の相談も受けています。なぜなら卒業生は『永遠に山協の卒業生』だからです。

これからも、教職員全体で在学生、卒業生のために力を尽くしてまいります。

就職について

『山協子女奨学金のご案内』

ご親族が山協に進学される場合、入学金の一部(5万円)を免除する「山協子女奨学金」(他の奨学金との併用可)がございます。
※その他「特待生奨学金」(1年次の授業料全額免除)、推薦奨学金(1年次の授業料から31~10万円を免除)などございます。ご親族にデザイン分野への進学を希望される方がおられましたら、山協を是非ご紹介ください。

第9回 宇和島 パールデザインコンテスト

職 場や休日等、日常的に使えるおしゃれなパールジュエリーや、生活に潤いを与えるアイテムのデザインを広く募集し、フォーマルな装いに組み合わせるというイメージが強い真珠の新たな可能性を宇和島から提案していく。このコンテストに、ジュエリーデザイン科2年7名が参加しました。デザイン画による一次審査を通過した28作品が、実作品を制作して最終審査にのぞみました。審査の結果、3名が2次審査を通過して入選しました。

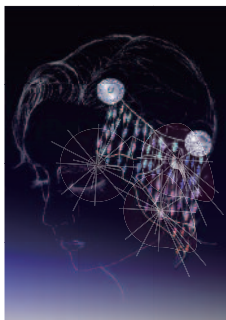


《入選》 ジュエリーデザイン科2年次

左から 高橋 遼 朝稲 千秋 馬場 栄里

フレッシュマン・ジュエリー・デザイン・コンテスト2016

シ ュエリー集積産地山梨では、未来の宝飾業界発展のために様々な取り組みを行っております。将来の業界の担い手である若手デザイナーの自由な発想、デザインを発表できる場を提供することを最大の目的としており、クリエイティブな発想によるデザインや革新的なデザインの応募を期待しています。」応募総数348点から1次審査で100枚が選ばれ、第45回甲府ジュエリーフェアにて展示されました。展示されたデザイン画より、全国の宝飾バイヤーによる投票が行われ、各賞が決定されました。このコンテストに、ジュエリーデザイン科1年と2年が授業課題として応募し、審査・投票の結果、白川 姫理さんが入選しました。



《入選》

ジュエリーデザイン科2年
(1年次制作)

白川 姫理

第45回 伝統工芸日本金工展

日 本金工展は、国内金属工芸の最高峰ともいわれ、全国の金工作家を対象とした公募展です。学生及び30歳以下の金工作家を対象とした「21+ (プラス)」部門の入選者33名の内、11名が山脇のジュエリーデザイン科の学生でした。



《入選》

ジュエリーデザイン科
2016年卒業(3年次制作)

北澤 幸脩

ジュエリーデザイン科2016年卒業(3年次制作)

家村佳奈子 石原 里美 岩崎 麻祐
小島 佳子 齋藤 拓也 藤崎 崇成

ジュエリーデザイン科3年(2年次制作)

朝稲 千秋 高橋 遼
田中 詩乃 馬場 栄里

2015 伊丹国際クラフト展

今 年のテーマは『ジュエリー』。人の心や身体に深く関わって時代の中で人々に愛され、人々を楽しませ続けているジュエリー。素材にこだわらない、新しい時代のジュエリーをお待ちしております。」でした。

応募総数1,153点、出品者数343人(うち海外23ヶ国132人)の作品より97人(うち海外58人)の作品が入選。審査の結果、本校のジュエリーデザイン科から柳生乃亜さんが入選しました。



《入選》

ジュエリーデザイン科3年次
柳生 乃亜

2015年 全国ジュエリー・アクセサリ デザイン画コンテスト

主 催は、NPO法人宝飾クラフト教育振興会・日本宝飾クラフト学院。今回のテーマデザイン画部門は、「空に舞うジュエリー・アクセサリ」でした。本コンテストにジュエリーデザイン科2年生が応募し、舩田穂高さんが『相田化学工業賞』、馬場 栄里さんが『奨励賞』、を受賞しました。また、他にも3名の学生が入選しました。



《相田化学工業賞》

ジュエリーデザイン科2年次
舩田 穂高



《奨励賞》

ジュエリーデザイン科2年次
馬場 栄里

《入選》

ジュエリーデザイン科2年次
高橋 遼 石井 加奈子

第9回 糸魚川翡翠 ジュエリー・アクセサリ デザイン画 コンテスト

9 回目を迎えた本コンテストは、糸魚川のヒスイ活性化や全国発信を目的に行われています。自由部門のテーマは「神秘的力」、製品化デザイン部門のテーマは「海」。コンテストには応募総数333点あり、ジュエリーデザイン科2年の7名が授業課題として参加しました。審査の結果、2年馬場栄里さんが『製品化デザイン賞』に輝きました。



《製品化デザイン賞》

ジュエリーデザイン科2年次
馬場 栄里

おいしい東北 パッケージデザイン展 2015

東北経済産業局が主催する、パッケージデザインコンペ。商品の魅力をより内外に発信し、東北地域10社の個性の商品を輝かせる新しいパッケージを全国のデザイナーから募集しました。

ビジュアルデザイン科の3年生が授業課題の一環として取り組み、【秋田県美郷町観光協会 美郷雪華ルームフレグランス】を題材として作成した古屋美紗子さんが見事入選しました。

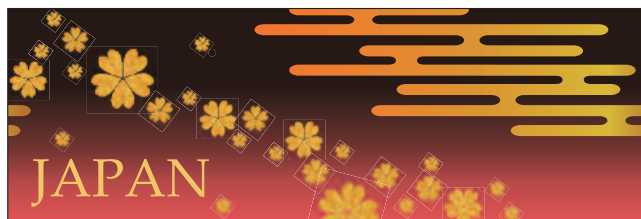


パッケージグラフィック

《入選》
ビジュアルデザイン科3年次
古屋 美紗子

香港フェア 日本ジュエリー協会 JAPANパビリオン「装飾クラウンデザイン」

日本ジュエリー協会より、香港フェア（香港で行われる国際宝飾展）JAPANパビリオン装飾クラウンデザインの依頼があり、本校の学生5名がチャレンジをしました。日本ジュエリー協会による審査の結果、スペースデザイン科 長坂勇さんのデザインが採用されました。2016年3月に行われた香港フェアにて、実際にJAPANパビリオン装飾クラウンとして、巨大看板が設置されJAPANパビリオンがより華やかな空間となり、日本ジュエリー協会や多くの来場者の方々に好評を頂きました。



《デザイン採用》
スペースデザイン科2年次（1年次制作） 長坂 勇

第6回 SUWAラフダイヤモンド ジュエリー コンテスト 2015

主催は、国内外でジュエリーやダイヤモンド・カラー石のルース(裸石)の販売をしている諏訪貿易株式会社。今年の募集アイテムは『ピンズ』でした。コンテストには、学生・社会人を問わず130点の応募があり、本校からはジュエリーデザイン科8名が参加しました。1次審査で応募されたデザイン画の中から入賞3点に選ばれ、そのデザイン画をもとにプロが実制作をします。出来上がったジュエリーの最終審査で見事、朝稲千秋さんが「優秀賞」に輝きました。また、石井加奈子さんが「チャレンジデザイン賞」、卒業生の斎藤文太郎さんが「佳作」として入賞しました。7月17日～22日、本校の山脇ギャラリーにて、全ての応募デザインと入賞作品が展示されました。



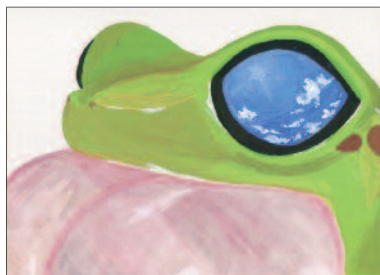
《優秀賞》
ジュエリーデザイン科2年次
朝稲 千秋
《チャレンジデザイン賞・佳作》
ジュエリーデザイン科2年次
石井 加奈子
《佳作》
ジュエリーデザイン科第19期卒業生
斎藤 文太郎

学院ニュース

第5回 YAMATO イラストレーションデザインコンペ

若者の発表活動をサポートするとともに、大和市をイラストあふれるまちに変えていくことを目的に、毎年実施されているもの。今回のテーマは「空」。大和市とドラマティックカンパニー Yamato50の主催。応募総数269点の作品の中から、見事、ビジュアルデザイン科の永塚久瑠沙さんが最優秀賞を受賞しました。そして翌年度のイベントのポスターなどを制作するイラストレーターとして起用されます。

2016年2月7日、神奈川県大和市イオンモール大和にて授賞式が行われました。会場では作品について簡単なインタビューを受け、市長より賞状を授与されました。



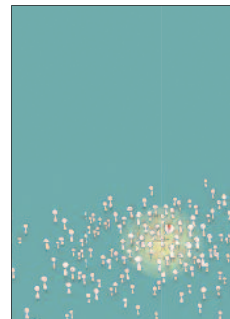
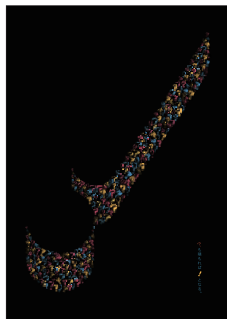
作品と共に

《最優秀賞》【青空】
ビジュアルデザイン科2年次 永塚 久瑠沙

第16回 デザイングランプリ TOHOKU 2015

『デザイングランプリTOHOKU』は、プロのデザイナーとプロを目指している学生を対象に、グラフィックデザインのコンペを通して、互いのデザインの向上を目的とするものです。同時に、将来的性のあるデザイナーの登竜門として、印刷産業界とデザイン関係業界の活性化を支援することを目的としています。

本コンテストの学生部門に、ビジュアルデザイン科2・3年の学生が授業課題として応募しました。審査の結果、芦沢拓郎さんと鈴木慧美さんが「東北地区印刷協議会会長賞」、斎藤千夏さんと舟川真央さんが「期待賞」に見事入賞しました。その他、8名の学生が入選しました。



《東北地区印刷協議会会長賞》
ビジュアルデザイン科2年次
芦沢 拓郎
《東北地区印刷協議会会長賞》
ビジュアルデザイン科2年次
鈴木 慧美
《期待賞》
ビジュアルデザイン科2年次
斎藤 千夏 舟川 真央